# 2022 第57号

# 千葉支部だより



 $J \cdot A \cdot C$ 



# 令和4年4月発行

発行元(公社)日本山岳会千葉支部 〒285-0850

佐倉市西ユーカリが丘 5-12-4 松田方

発行者松田宏也編集者小川和敏

E-Mail cib@jac.or.jp

(表紙の絵)

春の城沼風景 (つつじヶ岡) 水彩画 小菅 一弘

# 「山の日」の「田中陽希氏の講演会」に全員参加を、(こ)/ 千葉支部長 松田宏也

NHKBS放送のグレートトラバースの主人公である田中陽希氏の講演会が「山の日」の8月11日 (材、千葉市民会館での開催が決定しました。主催は「房総の山復興プロジェクト」です。このプロジェクトは2019年の台風15号と19号によって甚大な被害をうけた房総の山の登山道の復興を、千葉県の代表的な3山岳団体が共同で取り組むために設立されました。3団体とは、(一社)千葉県山岳・スポーツクライミング協会、千葉県勤労者山岳連盟、(公社)日本山岳会千葉支部です。

2019 年末に復興プロジェクトを発足させたものの、コロナ感染拡大により復興活動は停止状態になってしまい、その後、コロナが収束かと思われた21年末に2年ぶりにメンバーが顔を合わせようやく活動が開始できると思いきや、今度はオミクロンの感染急拡大。なんともついてないものです。

しかしながら、千葉県の山岳関係の3団体がこう して集まったのだから、千葉県には海だけではなく 素晴らしい山の自然があり、その山々が荒れた状態 にあることをもっと知ってもらうためにも「山の日」 にイベントをやろうとの結論に達したのです。具体 的な活動が今回の田中陽希氏の講演会です。 田中陽希氏は、屋久島から利尻島までを、公共交 通機関を一切使わず人力のみで、2014年に百名山、 2015年に二百名山、そして2018年に三百名山、総 計501座を、7年という時間をかけて昨年8月に完 全踏破しました。

今後、講演会の開催に向けての準備が始まります。 詳細は支部メールにて発信をさせていただきます ので皆さんのご協力、ご支援をお願い致します。こ のBIGな講演会を成功させることで、房総の山の現 状を県民の皆さんにも知っていただき、復興を加速 させていきたいと思います。荒れた登山道の整備に よって、ファミリーや山の愛好者が一日も早く安全 な登山ができるようにすることは山岳団体の使命 でもあると思います。素晴らしき千葉県の山を持続 可能な状態に戻す整備活動に一緒に汗を流してく れる会員、会友を大募集しますので、是非ともご協 力をお願い致します。

また、房総の山復興のために3団体がタッグを組み、このような活動をすることは初めての試みです。 今後とも3団体が交流を続け、千葉県の登山文化の 発展普及につなげる活動につなげていきたいと思います。

# [ 目次]

・山行記録	p 2∼4
三浦岩礁の道、隠岐の島、梨沢で沢登り、大人の遊園地・石裂山	
・鹿野山古道調査プロジェクト 山口文嗣	p 4
・山行記録	p 5∼7
極寒の八ヶ岳、高宕山で新年山行、奥多摩・鷹ノ巣山、裏磐梯イエローフォール、	
初めての冬山―高峰山・黒斑山、強風の元清澄山	
・あの日の山 若き日の夢―ヒマラヤに挑戦 南井英弘	p 8
・ウォーキングクラブ活動報告 杉本正夫	р9
・支部山行の予定	p 9∼11
・事務局からのお知らせ	p 12

# 三浦岩礁の道

# 三田 博

12月20日(月) 晴れ

参加者:L三田博、小川和敏、香高真奈美、國宗文 (4名)

タイム:松輪バス停 10:05→剱埼灯台 10:40→ 白浜毘沙門天 12:20→盗人狩 13:20→ 宮川町バス停 14:10→三浦海岸駅 15:20



の中を海岸へ向かう。漁港を抜けるとすぐに岩礁の海が広がる。剱崎灯台に寄ってみると、富士山が大きく見えた。同時に東京湾を隔てて、海の向こう



に房総の山が望める。鋸山と双耳峰の富山がひときわ 立派に見えて嬉しくなる。

岩礁歩きを再開すると、背後の断崖に風が遮られぽかぽかと温かい。海を見ながら岩に腰かけてお弁当を食べると、子供の頃の遠足に来たような気分になる。剣崎灯台の他にも、白浜毘沙門天、断崖絶壁の下にある「盗人狩」と呼ばれる場所など見所があり、歩いて

い要内道とはた足三いいなで所看迷も行がを崎ていない、延港みか、延港みからばまるものといったのしてのして知り、こ回っして歩もれい。



#### 50歳未満は入会金と年会費2年間分を免除します!

千葉支部への入会には経験・年齢の制限は設けていません。身近な人で登山経験者や登山を始めてみたい方がいましたらご紹介ください。入会希望者向けの「お試し山行」に参加できます。日本山岳会への入会もご相談に乗ります。特に若い方が入会しやすいように、50歳未満の新入会員は入会金1,000円と2年間の年会費(正会員1,500円または会友3.000円)を免除します。

# 隠岐の島

# 羽藤 美代子

## ※個人山行

山行日/天候:11月20日(晴れ) 21日(晴れ) 22日(雨) 23日(曇り.雪)

参加者:L山田紀夫、吉永英明、小川和敏、柳川しげよ、 吉田望、羽藤美代子 (6名)

タイム 20 日 米子空港8:15→七類港9:30→別府港 (西ノ島)12:05→ 観光タクシー13:10→ 鬼舞→ 赤尾展望所→ 魔天崖→ 通天橋

→ 宿「国賀荘」16:40

21 日 宿「国賀荘」 9:00→ 黒木御所跡→

別府港(西ノ島)12:15→ 西郷港(島後) 14:00→観光タクシー14:15→玉若酢神社→ 隠岐国分寺跡→水若酢神社→ローソク岩→ ホテル 18:00

22日 ホテル9:00→ 都万の船小屋→壇鏡の滝 → かぶら杉→ 乳房杉→西郷港15:10→ 七類港17:35→皆生温泉、ホテル18:00

23 日 ホテル8:30→ 大山寺駐車場9:20→ 大山登山口9:40→下山 駐車場12:20→ 足立美術館15:30→米子空港発17:35 島根県隠岐の島の大満寺山登山、そして島旅、山田さんが計画された行程表を見て私は初めての隠岐の島にワクワクする。隠岐諸島はユネスコ世界ジオパークに認定されていて、貴重な大地の遺産と、その上に成り立つ地域の生活や文化を守りながら、価値を未来へ伝える事とあった。う一ん、少し難しい。

1 日目 (20 日)

羽田から飛行機で約60分、鳥取県の米子空港に到着した。 七類港に移動しそこからフェリーで西ノ島の別府港に向か う。別府港に近づくと、島の山々が紅葉しているのが、鮮明 に見える、船内の乗客は多かったのだが、別府港で下船し た観光客はあまり多くはなかった。島内は観光タクシーで 名所を回る。車は鬼舞スカイラインを走り、放牧されてい る牛が沢山、草をのんびりと食べている。糞も豪快だ。海が 眺められ、自由に放牧されている牛は、ストレスが無く育 つのかもしれない。観光タクシーの運転手の人は、朗らか で饒舌。「西ノ島の人口3000人、牛600頭、高校卒業する と、ほとんど島から出て行って、帰って来ない」と。 素晴 らし自然の島と思っても現実は住んでみないと分からない ものなのかもしれない。島前のカルデラが見渡せる赤尾展 望所、国賀海岸の浸食された断崖の魔天崖、ここから通天 橋迄1.5kmの絶景のウオーキングコースがあった。時間が



なく歩くことが出来ず、 残念だった。岩の架け橋 の通天橋へ。波で浸食さ れて、少しずつ形も変化 していると言う。

2 日目 (21 日)

隠岐諸島最大の島である島後へ向かうため別府港へ。出港迄時間があったので、後醍醐天皇

の流刑地と伝えられる黒木御所跡へ。小高い山への階段を登ると海が見えた。きっとこの眺めは寂しいものだったのかもしれない。フェリーに乗り、島後の西郷港へ、観光タクシーで玉若酢神社へ。隠岐の島の開拓に関わった玉若酢命を祀る神社で島後で由緒ある神社とか。神門くぐると樹齢2000年の八百杉が見事である。宮司の億岐家には、隠岐騒動での刀傷、鉄砲の玉跡が柱と戸に残っていたのが印象的である。そして後醍醐天皇行在所跡の隠岐国分寺跡がこち

らにもある。水若酢神社の屋根は隠岐造りで素朴さが美しい。そしてローソク岩へ。

3 日目 (22 日)

今日は隠岐諸島の最高峰の大満寺山に、ジオパークの鈴木さんの案内で登山の予定だが、朝からの雨模様で止む気配もない。ジオパークの車で島の名所を案内してくれた。都万の船小屋、ここは未来に残したい漁村風景だそうだ。那久川の上流にある壇鏡の滝の雄滝、雌滝。樹齢 600 年のかぶら杉は根本付近から 6 本の幹に分かれてる。 そして



のフェリーを待つ間、ジオパークで隠岐諸島の成り立ちを聞いた。隠岐諸島の地形は火山に由来していて、島前は陥没した火山に海水が入り込んでカルデラ地形をなし、島後では3万年前の石器に使われていた、黒曜石を見ることが出来るそうだ。そして隠岐諸島の植生には、南北、標高の高い土地、低い土地の植物が混ざり、植物の多い島だそうだ。花の季節に又来たいと思った。

4 日目 (23 日)

今日は大山登山。大山寺の駐車場に着くと、気温 4 度の表示。大山の山頂付近は薄っすらと雪をかぶっていた。登山道は途中から雪だろうと覚悟して登山口へ。石段から木の階段を3合目、4合目と登っていくうちに雪あられが随分降ってきて風も強くなり、「8合目頃から強風で雪も凄いですよ」と、登山パトロールの言葉に、帰りの飛行機の時間も心配になり、やむなく4合目で下山し、僧兵コースを歩

き大神山神社奥宮、大山寺をお参りし参道 入口のそば屋で冷え たからだを温める。帰りの飛行機便迄時間 があったので、足立美 術館に立ち寄り、日本 画と庭園を楽しんだ。



# 梨沢で沢登り

三田 博

山行日/天気:12月18日 (晴れ)

参加者:L三田博、小川和敏、三品京子、三田芳江、

竹内進(5名)

タイム: 梨沢公民館9:45→入渓地10:30→不動滝11:20 →七ツ釜12:30→堰堤登り口14:15→三浦三良山

14:40~15:10→梨沢公民館16:30

今回も梨沢公民館に駐車させてもらい出発。真冬の沢登りとはなんと酔狂なことか。沢靴を履いた足裏が冷たい。最初はゴーロの河原歩き。やがて両側が深く切れたったゴルジュの中のカーブを曲がると6m不動滝だ。前日の雨で



水量が多く、ごうごうと音を立てている。雨具を着てシャ

ワークライミング。念のため後続に ロープを出し、全員無事に登る。そ の後も、深いところは腰まで水に浸 かっての遡行。年寄りの冷や水は体



に悪い。深くて通れないところは、高巻きして懸垂下降。前回、撤退した七ツ釜も流木を使って何とか越える。最後の

堰堤までたどり着いたが、そこから詰め上がるルートが倒木だらけで難儀する。ようやく着いた三浦三り、は田見林道を経由、素掘りのトンネルを出った。 民館に戻った。



# 大人の遊園地・石裂山

# 山田 紀夫

山行日/天気:12月25日(晴れ)

参加者: L小川和敏、宮崎美智代、三田芳江、山田紀夫

(4名)

タイム:加蘇山神社社務所9:10→加蘇山神社9:40→ 石裂岩(奥の宮)10:55→石裂山山頂・昼食

12:00→ 月山 13:00→加蘇山社務所 14:30



早朝千葉を出発したときは、かなりの雨脚だったが、自称晴男女 4 人のクリスマス山行なので必ず回復すると信じていた。登山口のある加蘇山神社社務所につ

いたときには青空が見えた。ところで、「石裂山」を「おざくさん」と読める人は、かなり山に詳しいか以前登ったことがある人だと思います。場所は栃木県鹿沼市で前日光県立自然公園にふくまれ、関東百名山にも選定されています。岩場が多く古くから山岳信仰、修験道場の地として開けていました。

石裂山は、標高880m、標高差約550m、歩行時間4時間程の山ですが、急峻な岩場に傾斜の強い長い梯子、鎖が多数あり、岩登りや数回のアップダウンを繰り返しながらの登山です。途中には、かつて雨乞いがおこなわれた「竜ヶ滝」、縁結びの「千本桂」や山名の由来となった「石裂岩」、そして何よりも山頂から雪を湛えた日光連山が見えます。変化と歴史と観光がコンパクトに詰まった正に「大人の遊園地」とよべるにふさわしい山です。

登山口の社務所から歩き始めると、サルオガセが木々に 多くまとわりついていたのが印象的でした(サルオガセは

地衣類で霧と光合成で生きている)。 近くには、猿のような 顔をし頭と胴体とが別々になった不思議な石仏らしきもの がぽつんと立っていました。そして、加蘇山神社本殿には 「三本杉」(樹齢5~800年、樹高50m、子宝の杉) に圧倒 され根元にへばり着いている緑苔のふわふわの感触が女性 陣にはたまらなく愛おしかったようでした。竜ヶ滝、休憩 所を過ぎご神木の千本桂があらわれる。ここから登山道は 傾斜を増し中ノ宮跡を過ぎるといよいよ岩場の始まり。行 者帰シノ岩と梯子を登ると石裂岩にたどり着き大きな割れ 目の奥に鎮座している祠に手を合わせる。すこし登り、橋 を渡りヒゲスリ岩をトラバースすると稜線に出る。そして 東剣ノ峰、西剣ノ峰を長い梯子で下り登りし、さらに梯子 で下り御沢峠。そこから登り返すと石裂山のこじんまりと した細長い山頂にたどりついた。3等三角点と申し訳なさそ うな山頂表示板があった。日光連山が見え、日光白根山や 男体山などは山頂に雪をかぶっていた。



いる月山 (890m) に着く。石の鳥居と月山神社跡の祠と天 狗岩があり展望も開けている。下山は、鎖場や梯子が断続 的に続く急斜面を約1時間半下って、なんとか竜ヶ滝休憩 舎に戻ることが出来た。

コンパクトに変化に富んだ山は十分に我々を満足させて くれ、帰路に付いた。

# ● 鹿野山古道調査プロジェクト ●

## 鹿野山古道調査第3回

日時:11月28日 参加者10名



鹿野山神野寺よりスタート。まずは歌川広重が 「不二三十六景 上総鹿楚山鳥居崎」を描いた鳥 居岬に着く。

かっては鳥居があったというが、今は植林に蔽 われて眺望もない。代わりに日本武尊が東征の時、 鹿野山の夷賊を退治し、聖徳太子が神野寺を開山 したことなどが書かれた、石碑がある。

一旦別荘地に出てから、三等三角点を探し、ヤブに覆われた道を下って本村の山神社にでる。本村から再び山道に入り、一昨年の台風の影響の倒木と崖崩れに苦労しながら、ゴルフ場西側を通り神野寺に戻る。





# ※ 3月4日の千葉日報に、この調査時の記事が掲載されました。

日本山岳会の120周年記念事業の一環としての全国120の山岳古道調査にまず触れたうえで、千葉県でスタートした 鹿野山古道調査を紹介し、昨年の木更津での第1回目調査からの足取りや、調査時のメンバーの健脚ぶりや史跡などに出会った時の盛り上がりが記事になりました。

# 極寒の八ヶ岳

# 小山 俊隆

・山行日/天候:12月25日(晴)26日(曇り時々晴)27日(晴) ・参加者:L松田宏也、三田博、坂上光恵、小山俊隆(4名)

・タイム: 25 日/稲子湯 13:30→こまどり沢 15:40→ しらびそ小屋 16:30

> 26 日/しらびそ小屋 08:10→中山峠 11:55→ (エスケープルート) 黒百合ヒュッテ 12:10→渋の湯 14:20→茅野駅 15:30→ 夏沢鉱泉 17:00

27 日/夏沢鉱泉 07:20→茅野駅 08:40



茅野駅に集合し松 田車で稲子湯へ。晴 天に恵まれ車窓から 見えたが山頂付近の 見えたが気になっか。 稲子湯でストレッチ をして出発。積雪は

20-30cmで例年より多い。久々に雪の感触を味わいながらしらびそ小屋に到着。

翌朝6:30 に美味の超厚切りパンの朝食を摂り、テルモスへのお湯充填、パッキング、そして防寒着でドレスアップして出発した。登山道の足場は良好でトレースもしっかりついていたがトレースを外すと腿まで沈んだ。この週末は強い寒気の影響でかなり寒かった。二重の手袋でも指が痛くなり、何度となく手足の指を屈伸させて血流を確保した。また、発汗や休憩による体温低下を防ぐためペースを落としできるだけ連続歩行した。中山峠直前の急登は息が荒くなったがようやく中山峠に到着。稜線はいつもながらの強風で急激に体温が奪われ、長時間の停滞は危険なレベル。



強風視界不良とのことで、松田 L が危険と判断し尾根を降り渋の湯へのエスケープルートに変更した。このルートは緩下りのため安全で楽に高度を下げられる。10 分ほど下ると危険な寒さが緩和された。渋の湯からタクシーと夏沢鉱泉の送迎車を乗り継ぎ宿へ向かった。夏沢鉱泉手前の桜平からは車に荷物を残し徒歩。日没と同時に宿に到着した。夏沢鉱泉には温泉があり冷えたからだを温めるには最適であった

翌朝の外気温は-16℃で茅野市には低温注意報が発令さ

れ防桜き茅いた厳が恵楽行たて寒平送野て。し晴ましでい装ま迎駅解寒か天れめでので歩で着しはたもを山っ



# 高宕山で初詣

三田 博

山行日/天候:1月2日 (晴れ)

参加者:L三田博、小川和敏、三品京子、平出正美、柳川しげよ、宮崎美智代、小林みゆき、三田芳江、三田いずみ(会員外)(9名)

タイム:志組林道終点登山口10:15→郡界尾根分岐11:10 →高宕山山頂11:30→高宕観音11:50→ お茶立て場13:40→高宕山自然動物園15:30

正月休みで帰省中のうちの娘も特別参加させてもらって 9名で新年山行をおこなった。しばらく閉園したままになっ ている高宕山自然動物園の駐車場に車を置き、2台で志組林 道の怒田沢橋ゲートまで行き、歩いて林道終点の登山口へ。



ここからは地図に 登山道は書かれて 沢山あり、急線で 沢山あ下りしへ を上根分はパスし出 三角点は直下の出る。 高岩じ登って山頂 へ。高宕山初登頂の人も山頂の景色に満足そうだ。高宕山 に来るたびに会う、登山道整備の方ともすれ違い挨拶する。

昼食は日当たりのいい高宕観音で、お湯を沸かしてもらいのんびりと。帰りは「お茶立て場」「白壁のテラス」を経由してのロングコースを歩く。2019年の台風被害で倒木や土砂崩れ個所もあるが、人が通れるように整備されている。ボランティアの方々に感謝するとともに、我々も微力ながら故郷の山の復興に手を貸さなければと思った。



# 鷹ノ巣山

# 柳川 しげよ

山行日(天候):1月22日(快晴)

参加者: CL 今井貴明、SL 三品京子、三田芳江、

柳川しげよ(4名)

タイム: 奥集落登山口 10:25→浅間尾根避難小屋 12:15 (昼食) 12:50→鷹ノ巣山頂上 13:20→石尾根→

水根沢バス亭 16:15

コロナ禍の中、思い切っての山行だったが、抜群の景色、凍った滝を見たり、変化に富んだ冬に登る、最高の山だった。登り始めから急登が続き、鳥居をくぐると、浅間神社が見えてきた。正に信仰の山。とにかく、急登を登り続け、アキレス腱は伸びっぱなしである。斜面に椎茸の原木が並び、今までに見たこともない風景だ。



野外テーブルで、メンバー持参したバーナーと水で熱々の ウインナーと熱々のスープをいただき、格別の昼食だっ た。



昼食を楽しんだ後、 頂上に向かい素晴らしい展望に感動。下山は、きれ落ちた谷底あり、緊張感のある登山道が、しばらく、続いた。水根沢の登山口に到着した時は、ほっとした気持ちだった。私には、厳しい山行だった。





# 裏磐梯イエローフォール

# 宮崎 美智代

山行日/天候 2月5日 (雪)

参加者: L 三田博、三品京子、三田芳江、宮崎美智代 タイム: 裏磐梯スキー場 10:00→イエローフォール 11:00 →裏磐梯スキー場 12:00/五色沼入口 14:00→ 弁天沼 14:50→五色沼入口 15:40



イエは製火をはいるとは、イエは製力を表しては、大きな、大きないですがある。これでは、大きないとは、大きないとは、大きないとは、大きないとは、大きないがある。

な雪景色と氷結した沼の上を歩ける楽しみがあった。

2月5日、朝は粉雪が舞う中での出発だった。が、ゲレンデに着く頃には雲の切れ間から青空と時折日差しが差し込んできた。スノーシューを履くのは初めて、足さばきは慣れないが深雪の中に足を踏み込んでも埋まらずに歩けるの

が楽しかった。銅沼は凍っていて念願の沼上歩きをし、山 肌には噴煙が上がっているのが見えた。緩斜面を歩き、い よいよイエローフォールへと着く。見上げたイエローフォ ールは昨夜の雪が付着しパステルイエローに。それでも皆 その姿に満足し磐梯山を背にスキー場へと戻った。

昼食後は五色沼へと移動。またスノーシューを履き五色 沼のハイキングコースへと。毘沙門沼、赤沼、みどり沼、竜 沼と過ぎ弁天沼あたりで引き返した。この日の沼巡りは雪がしんしんと降り、人もまばらでまさに幻想的だった。



# 初めての雪山―高峰山・黒斑山 上條 誠一郎

山行日/天候 2/19(晴れのち雪) 2/20(晴れのち雪) 参加者 L松田宏也 三田博 坂上光恵 上條誠一郎(4名) タイム 19日 13:30 車坂峠→15:40 高峰山→17:05 車坂峠 20日 8:25 車坂峠→10:45 槍ヶ鞘→11:15

トーミの頭→11:40 黒斑山→12:15 トーミの頭→13:15 車坂峠

#### 1日目

スーパーのツルヤみかげ店で集合し食材を買い出してから日大ワンゲル小屋に移動、小屋を開けて昼食を食べた後、小屋から車坂峠に移動しワカンを使い雪と戯れながら高峰山までピストンした。雪を掻き分けワカンで歩く感覚はと



一杯いただき小屋に帰った。 小屋にある薪ストーブで冷え た体を温めた後、夕飯を食べて寝た。

#### 2 日目

午前6時に起床し、昼食用のサンドウィッチを作ってから車坂峠に移動し登り始めた。この日、松田さんは義足の調子が悪かったため小屋で留守番だ。前日の夜に雪が結構積もったが既にトレースがあり楽に登ることができた。最

# 強風の元清澄山

國宗 文

山行日/天候:2/27 (晴れ)

参加者: L 今井貴朗、小川和敏、三品京子、香高真奈美、 松本さゆり、國宗 文(6名)

タイム: 三石登山口9:15→ 地蔵峠10:15→

林道分岐 11:00→ 元清澄山頂上 11:30

→林道分岐 11:45→林道素掘りトンネル 12:15

→ (昼食) →地蔵峠 13:45→登山口 14:45

2月とはいえ春の陽気の暖かな1日でしたが、現地到着したら予想外の強風でビックリ!千葉の山らしい痩せ 尾根と所々ある倒木やガレ場で強風にあおられると別の 意味でもヒヤッとしました。

三石山人の 一三石ののいる にして、 一三石ののいる にして、 にして



初の方は晴れていて八ヶ岳の方まで見渡せていたが段々と 曇ってきた。天気が崩れるかと思いきやすぐに雲が流れて いって晴れた。半分ほど登ったところでアイゼンの練習を 兼ねてアイゼンを装着した。他に4パーティーほどいて冬 でも人気の山だと感じた。アイゼンを履いて歩く感触を楽

しみつつ歩いていると ついに槍ヶ鞘についた。 槍ヶ鞘からはトーミの 頭と浅間山が大きく見 えた。浅間山にはうっす ら雲がかかっていたが 徐々にはっきりと見え るようになってきた。ト



一ミの頭への急登を慎重に登りトーミの頭に到着、しかし 浅間山に雲がかかっていてあまり展望がよくないので黒斑 山の山頂目指してまた登る。そして遂に黒斑山の山頂につ きサンドウィッチを食べていると少しの間だけ雲がはけて 雪化粧をした浅間山の美しい姿を拝むことができたので下 山開始。登山中の事故は大半が下山中に起きるので注意し ながら慎重にトーミの頭の急登を無事に降り車坂峠へ下山。 ちょうど下山をしたあたりから雪が降りだしたので急いで 小屋へ。とても名残惜しいが戸締りをして今回の山行は終 了となった。

今回の山行は僕にとっての初めての雪山となったが事故もなく無事に終えられてとても楽しい山行だった。今度は八ヶ岳や谷川岳などの雪山にもチャレンジしたい。



ル群が見えます。この造成で山が削られ登山道が崩壊し、返って自然破壊になっているとは今井リーダーの弁。東大の自然保有林もあり、胴回りの太い大きな木々に癒されました。地蔵峠で小休止した後、今は廃道となっている林道との分岐を経て元清澄山山頂へ。ベンチがあったけど風が強いので林道分岐まで戻り、廃道マニア(?)の今井リーダーおススメの素掘りのトンネルを抜けた所で昼



でした。感謝。帰路は徐々に風も収まり順調な下山でした。 私自身、久しぶりの山行でしたが、山の気持ち良さを再 認識した1日でした。因みに三石山山頂は観音寺、最高地 点は駐車場近くの展望台とのこと。コロナで入場2時ま でとなっていました。

# あの日の山

# 若き日の夢―ヒマラヤに挑戦

# 南井 英弘

学生時代から定年後はヒマラヤを目指すと決めていた。74年、海外勤務で2年10ヶ月滞在したUAEからの帰途にエベレストの麓へ、また81年クエート在任中にはカラコルムを訪ね定年後のヒマラヤ計画の偵察を完了させた。待ち望んだ定年後、97年から3年連続で5000m峰、その後6000m峰へと高みへのステップを周到に踏んでいったが、2001年の7000m峰のスパンテイーク(パ\*キスタン)は失敗、翌02年、再度の7000m峰にひたすら歩けば登頂可能なムスターグ・アタ(7546m)を選んだ。

02 年 6 月 29 日イスラマバードからカラコルム・ハイウエーを遡り、中国との国境クンジュラブ峠 (4530 m) を越え 7 月 5 日 TBC スバシ (3700m) に入った。



初めて見るがよい。 な丸いテンこは300 m)を放った を設める。 がらいた。 を設める。 がらいた。 をはいった。 をはいった。 をはいった。 ではいった。 ではいった。 ではいった。 ではいった。 ではいった。 ではいった。 はいった。 にはいった。 にはいいった。 にはいいいった。 にはいいった。 にはいいった。 にはいい。 にはい。 にはいい。 にはい。 にはいい。 に

氷河から30cm幅の融水が流れている。上のテントの連中の飲料水であり食器洗い場でもある。水場の横にホットシャワーの小さな小屋掛けもある。ラクダ、ロバ、羊、山羊たちの乾燥糞を燃料にしていた。登山者が行き交う大きなテントは一般食堂で外国からの公募隊員が3食摂っている。BC入りした日に羊を神に奉げ安全祈願をしていたが、毎年同行のガイドが「ここには山羊が沢山いる。山羊の価格は羊の倍ほどするがお薦めだ」と。1頭葬り食べたが確かに山羊肉が遥かに美味しい。放牧民から買った山羊乳も濃厚で旨かった。昼間、現地のウイグル系中国人達は器用に作った卓上で玉突きを楽しんでいるのどかなBCだ。

7月10日から典型的な極地法形式を採って頂上に向かった。残雪が残る CI (5300m) へはロバを使ったが途中からの氷雪上は当地にポーターがいないので自分たちで数回かけて運んだ。その後、相棒と私、ガイドとキッチンボーイの 4人で高所順応を兼ねて何度も上下し、





CII (6000m)、CIII (6,700m) を設営。一旦BCに下り、3日間休養後、23日から登頂開始。CI、CII、CIIIに夫々1泊。前後するのは山スキーを履いた人か折りたたみ式自転車を担ぐ人ばかり。アイゼンは我々だけ。CIIIの朝6:15に出発したが西面を登っているので陽が射すのが遅い。太陽光で少し暖かくなった時の温度計は-21℃を指して

いた。青氷の上に薄っすらと新雪が積もった斜面をひたすら登り続け、立ち止まって深呼吸をすることもなく快適に頂上 (7546m) に立った。相棒に「ご苦労さんでした。あと 460m登れば 8000mだ!」とグラブを叩き合って 8000m峰の可能性を実感した瞬間だった。



ムスターグ・アタ登頂後(左が南井さん)

相棒は右手中指、私は足指8本の凍傷を負い、翌年はバルトロ氷河からゴンドコロ峠越で辛抱した。04年相棒が病に倒れ単独で8000mに出掛けるには準備が煩雑過ぎる。JAC大蔵喜福さんがシシャパンマに出掛けるとのことで同行、69歳で中央峰(8008m)に立つことが出来た。05年日本ネパール国交50周年記念時にJAC仲間とマナスルに、06年日本隊マナスル初登頂記念に同じ仲間のJAC隊で再度マナスルに、翌年もチョー・オユーに出掛けたが悪天候2回と体調不良で2度目の高峰は微笑んでくれなかった。

会員 No. 9791 南井英弘さんの印象に残る山でした。

# ウォーキングクラブ報告

## 杉本 正夫

#### ● 行徳から江戸へ

歩行日/天候:12月11日(土)(晴)

参加者:L杉本正夫、塩塚生二、新井好夫、黒住清美、竹園清孝(5名)

タイム:妙典駅10:00→常夜灯公園10:20→広尾防災公園11:10→新川東水門11:30→112:50 新川

さくら館(昼食)12:25→12;50 新川西水門 13:05→小名木川東側 13:20→クローバー橋

14:20→錦糸町駅 14:50



行徳に海岸は古くから塩田が開け、製塩業が盛んな町でした。この塩を江戸に 運ぶため運河を整備したのが今の小名木川と新川です。今回は常夜灯公園から旧 江戸川・新川・小名木川と川沿いの遊歩道17km程を歩き通すコースを設定し、途

中適当なところで最寄り駅に行って解散と考えていましたが、私以外のお若い皆さんは大変楽しんで歩かれて予定のクローバー橋まで歩き通され、猿江恩賜公園を通り抜けて錦糸町駅で解散となりました。特に新川沿いはさくら館や西水門広場の昔風火の見やぐら等に感動していました。



# ● 成田街道周辺ウォーク②

歩行日/天候:12月22日(水)(睛)

参加者:L杉本正夫、塩塚生二、高橋琢子、香高真奈美、岩尾富士夫、高橋正彦、国宗文、吉田望、宇津木仁典、梶田義弘、

竹園清孝、鎌谷繁、小林義亮(13名)

タイム: 新京成線習志野駅 10:10→成田街道新木戸信号 10:50→京成バラ園前 11:30→12:15 八千代総合運動公園(昼食)

13:00→京成勝田台駅 13:40



スタート地点に近い町名の薬円台と駅名の薬園台の違いや、習志野の呼称の理由等地名に関するエピソードを語りながら、本物のD51が展示された薬円台公園を通り抜けて成田街道に出ます。車の多い成田街道を避けて、新木戸信号から八千代緑が丘駅に向かい、東葉高速線沿いの緑に囲まれた遊歩道を進みます。京成バラ園は休園日で、そのまま昼食場所

の運動公園に向かいます。公園近くの新川大橋で、自転車で駆けつけていただいた山本さんと合流し、昼食後一緒に勝田台駅に向かいました。多くの参加者が集まり楽しいウォーキングでした。



## ウォーキングクラブのリーダーが宇津木仁典さんに変わりました。

4月からは「宇津木」カラーのウォーキングになります。「県内と近くの都県を歩こう」がテーマです。是非、ご支援の程よろしくお願い致します。

※リーダーの連絡先に、宇津木さんのメールアドレスを記載してあります。

# 支部山行の予定

● 山行の心得 - リーダーは、ガイドや添乗員ではありません。

# 「連れて行ってもらう」ではなく、自主的な意識を持ち参加してください。

リーダーが参加者にそれぞれ役割を振り分けますので、積極的に引き受けてください。参加する前に、山域、コース、交通機関などは地図やガイドブック、ネットなどで十分下調べして下さい。地図・コンパス・筆記用具は、どんな山行でも必ず持って来てください。また、山行に見合った登山保険には必ず入ってきてください。遭難救助付きの保険加入は任意ではなく、すべての登山者の義務です。体調不良者が出れば事故と同じで、山行は中止になり引き返すことになります。日頃の自主トレーニングも是非行なうようにしてください。



# 日本山岳会千葉支部

# ● 山行の申込み

<u>申し込みは、原則として電子メールで行ってください。その際には下記事項の記入をお願いします。</u> また山岳保険には必ず加入してきてください。

①氏名②生年月日・年齢③住所、自宅電話番号、携帯電話番号④緊急連絡先氏名(続柄)、緊急連絡先電話番号 ※年齢は山行日の年齢です。計画書と違うと保険が効かない可能性もあります。

山行によって定員を設けています。技術・体力不足、初参加で力量不明の場合はお断りすることがあります。 「コロナ対策: 密集を避け、山小屋や休憩所などではマスク着用や消毒など決められたルールに従うようにしましょう。」

# リーダーの連絡先 宇津木仁典 印刷版支部だよりを参照 松田宏也 三木雄三 三田 博 三田 芳江 藤木亥三六 小川和敏 三品京子 今井貴朗

#### ≪難度≫

- W ウォーキング
- A 整備され歩行2~3時間
- B 歩行5時間前後
- C 歩行7時間前後、一部岩あり体力要
- D 強い体力、岩技術要
- E 高い適応能力要、危険度大 (難度は JAC 日本 300 名山を参考。岩・沢及び積雪期は 難度アップとする。)

個人山行も計画書提出を 送信先; cib@jac.or.jp

# 山 行 の 予 定(4月~9月)

日程	山 名	難度	備  考	リータ゛ー	締切
4月2日(土)	高尾・日影澤林道	В	自然学・早春の植物と生きもの	三木	3月19日(土)
4月2日(土)	奥高尾バリエーション	C	城山北東尾根と景信山東尾根 地図読	三田	3月22日(火)
4月6日(水)	平日山行 (鎌倉)	A	衣張山(お寺と花見)	松田	3月30日(水)
4月9日(土)	笠森観音	В	笠森観音~野見金公園往復	1111日	3月26日(土)
4月10日(日)	東京桜の名所	W	目黒川~千鳥ヶ淵~上野恩賜公園	宇津木	4月3日(日)
4月10日(日)	岩櫃山	C	密岩周回コース。岩場あり、車使用	三田(芳)	4月1日(金)
4月16日(土)	大塚山・御岳山	В	静かな鉄五郎新道をイワウチワ群落 を求めて。岩場少々有り。電車を利用	今井	4月3日(日)
4月17日(日)	成田太鼓祭り	W	成田山~宗吾霊堂	宇津木	4月10日(日)
4月23日(土)~24日	栃木・月山と夫婦山	С	アカヤシオと栗山の民宿泊	三田	3月22日(火)
4月29日(金)	三浦富士から武山	A	ツツジ祭り	松田	4月22日(金)
4月29日(金)	滝子山	C	寂ショウ尾根から、岩場あり	1111日	4月22日(金)
5月1日(日)	川苔山	В	奥多摩の名瀑を訪ねて。電車を利用。	今井	4月20日(水)
5月3日(火)	秋川・軍刀利沢	D	沢登り。武蔵五日市からタクシー	三田	4月25日(月)
5月8日(日)	千葉支部総会				
5月14日(土)	子持山	В	6号橋登山口から	小川	5月5日(木)
5月14日(土)	鋸南町ウォーク	W	房総 Base と頼朝の上陸地周辺	宇津木	5月7日(土)
5月15日(日)~16日	(日)(月)山行(栃木)	В	日光社山と袈裟丸のツツジ見頃	松田	4月24日(日)

# 日本山岳会千葉支部

日 程	山 名	難度	備考	リータ゛ー	締切
5月21日(土)	足和田山と富士樹海	В	自然学クラブ	三木	5月14日(土)
5月22日(日)	高水三山	В	高水山~岩茸石山~惣岳山 縦走	藤木	5月15日(日)
5月28日(土)∼29日	大菩薩・曲り沢	С	沢登り・民宿泊	三田	4月25日(月)
5月29日(日)	千倉町ウォーク	W	渚の香と照葉樹の森	宇津木	5月22日(日)
6月3日(金)~4日	瑞牆山	С	"自然公園テント泊、不動滝から周回	今井	5月15日(日)
6月4日(土)	市原市ウォーク	W	ふさのくにの歴史探訪	宇津木	5月28日(土)
6月7日(火)~8日	平日山行 (釈迦が岳他)	В	山梨百名山 芦川のすずらん見頃か。	松田	5月17日(火)
6月11日(土)∼13日	只見・大滝沢と蒲生 岳	С	沢歩きと会津のマッターホルン登頂	三田	5月10日
6月17日(金)~18日	御座山	В	前泊でゆっくりと	小川	5月20日(金)
6月18日(土)	富津・大坪山		自然学・内房の「風衝草原」の植生を 調べる。	三木	6月11日(土)
6月18日(土)	日本山岳会総会				
6月19日(日)	金時山	В	仙石~金時山コース (矢沢倉ルート)	藤木	6月12日(日)
6月26日(日)	鎌ヶ谷ウォーク	W	日本ハム球場周辺	宇津木	6月19日(日)
7月3日(日)~4日	鬼怒沼	В	湿原の花見山行	松田	6月12日(日)
7月16日(土)	佐原ウォーク	W	小江戸の風情と大祭	宇津木	7月9日(土)
7月16日(土)~17日	金石沢とチョキ	С	沢登り・渓中泊	三田	7月1日(金)
7月23日(土)	富士山五合目	В	自然学・「お中道」の不思議を探索	三木	7月16日(土)
7月30日(土)~31日	湯檜曽川・東黒沢	D	シャワーを浴びて沢登り&沢下り	三田	6月30日(木)
8月4日(木)~7日	奥穂高岳	D	涸沢ザイテングラード、岩場あり	今井	7月15日(金)
8月11日(木)	合同「山の日」 イベント	中田田	陽希氏講演会・房総の山復興 PJ		
8月17日(水)	太郎山	В	平日山行 男体山の北西	小川	8月10日(水)
8月20日(土)	富士山昔道	В	1合目 (馬返し) から 5 合目へ 下山はバス	三品	8月5日(土)
8月21日(日)~22日	縞枯山	В	自然学・八ケ岳の縞枯れ現象の謎を調べる。	三木	7月20日(水)
8月26日(金)~28日	桃洞沢・赤水沢	D	秋田で沢登り。新幹線・レンタカー	三田	7月20日(水)
9月9日(金)~10日	焼岳	В	上高地付近に前泊予定	小川	8月5日(金)
9月18日(日)	三石山	В	自然学・海から隆起した千葉の山。	三木	9月11日(日)
9月23日(金)	いすみ市ウォーク	W	海岸周辺と裸祭り	宇津木	9月16日(金)

※ W;ウォーキングクラブの予定が変更になった場合はメンバーに事前連絡します。 メンバー登録はリーダー宇津木さんにメールしてください。

# お知らせ

≪事務局から≫

# ●2022 年度支部総会のおしらせ

2022 年度の通常総会を下記により開催いたします。この総会において 2021 年度事業及び決算報告、2022 年度事業及び収支予算計画など審議する予定です。

日時 2022年5月8日(日)午前9:10~

場所 千葉市生涯学習センター 大研修室(※今までの場所とは違います

〒260-0045 千葉市中央区弁天3丁目7番7号

総 会 9:30~10:30

記念講演 講演者未定



# ●役員会報告

〇1月報告 1月19日(水) リモート(松田、三田、山口、上村、小川、廿楽、山本、三品、山田、今井)

◇山行・行事報告 12/20 三浦岩礁のみち、12/22 成田街道周辺、12/25 石裂山、12/25~27 八ヶ岳、1/2 高宕山、1/15 袋倉川、1/16~17 本部山行委員会の合宿、1/16 鹿野山古道⑤

◇山行・行事予定 鷹ノ巣山、キンダン川、成田・宗吾参道 W、高峰高原など

◇検討・報告事項 ①「房総の山復興プロジェクト」の再開と千葉支部の担当山域について②8/11 山の日イベントについて(千葉岳連・千葉労山と共催)③来年度千葉支部事業計画と予算について④古道調査について⑤房総ベース近況⑥支部ホームページ更新状況

○2月報告 2月16日(水)リモート(松田、三田、三品、山本、小川、上村、山口、今井)

◇山行・行事報告 1/22 鷹ノ巣山、1/23 キンダン川(中止)、1/26 成田・宗吾参道 W(中止)、1/29~31 高峰高原(群馬支部と共同合宿)(中止)、1/30 鹿野山古道⑥(中止)、2/4~6 裏磐梯スノーシュー、2/5 大岳山(中止)、2/9~10 佐久間ダム周辺(中止)

◇山行・行事予定 佐倉・酒々井 W、2/27 元清澄山・三石山、ミツバ岳など

◇検討・報告事項 ①山の天気ライブ (3/26・27)、②コロナ対応について、③房総の山復興プロジェクト、

④8/11 山の日イベント進捗(千葉岳連・千葉労山と共催)、⑤支部だより 57 号、⑥房総ベース近況

#### ●会員・会友の動向

≪退会・会員≫

IT さん

TNさん





編集後記;編集7回目です。今後も皆さまのご意見を戴きながら、より良い「支部だより」にしていきたいと考えて;います。宜しくお願いいたします。

未だにコロナの状況が好転しません。が、春を迎え、賢く防御しつつ暖かな山行が楽しめればと切に思います。 津田沼のヨシキスポーツさんにはSAC教室会場の提供ほか、千葉支部として大変お世話になっています。山用品 を購入するときは是非ご利用して頂きたいと思います。会員になると割引があります。 (小川和敏)

